

JAPAN PLATFORM for REDESIGN : SUSTAINABLE INFRASTRUCTURE

**環境インフラ海外展開プラットフォーム（JPRSI）
令和3年度 年次総会**

令和3年度活動計画

2021年8月4日（水）

会員の環境インフラ海外展開の具体案件形成の促進に向けて、以下の取組を計画

1. 情報アクセス支援

- 公式ウェブサイト掲載情報の充実化（国・都市別情報、支援情報） **拡充**
- 公式ウェブサイトの全面改修 **拡充**
- メールマガジン、セミナーによる支援 **拡充**

2. 会員情報の発信

- 環境技術リストの拡充 **拡充**
- 海外向け環境技術展示会における情報発信支援 **新規**

3. 個別案件形成・受注獲得支援

- 現地人材（ハブ・コーディネーター）の配置 **新規**
- タスクフォースの設置 **新規**
- ジャパン・ウィークの開催 **拡充**
- 相談窓口の設置 **新規**

1. 情報アクセス支援

拡充

国・都市別情報の充実化

- ✓ 現地最新情報等を収集し、定期的に更新
- ✓ 掲載内容の充実

- **各国NDC関連情報の掲載**
 - NDC内のターゲット・ニーズ
 - 当該国のインフラごとの窓口機関
 - 再エネFIT・入札情報
 - その他関連情報（優遇税率、関連ガイドブック等）
- **環境省内関連サイトとの連携（予定）**
 - 低炭素発展、JCM関連、循環産業の国際展開、等
- **掲載国・都市と関連する環境省の調査報告書等の掲載**

各国NDC関連情報

モンゴル、バングラデシュ、ベトナム、ラオス、インドネシア、カンボジア、ミャンマー、タイ、フィリピン、インド、マレーシア、スリランカ（以上12か国）

横断的情報

[各国NDC関連情報](#)
(読み取り専用ボタンを押して参照ください)

国・都市別情報

- 東アジア**
 - [モンゴル](#)
- 東南アジア**
 - [インドネシア](#)
 - [カンボジア](#)
 - [タイ](#)
 - [パラオ](#)
 - [フィリピン](#)
 - [ベトナム](#)
 - [マレーシア](#)
 - [ミャンマー](#)
 - [ラオス](#)
- 南アジア**
 - [バングラデシュ](#)
 - [モルディブ](#)

ベトナム

JCM発掘に係る国別調査

NDC内のターゲット・ニーズ（2030年） 2020年9月公表	当該国窓口機関	再エネFIT・入札情報	その他
<p>・2030年までにBAU（2014年）と比較してGHG排出量を自国の努力で9%削減/国際社会の支援が得られる場合は、27%削減を目指す。</p> <p><セクター別の内訳></p> <p>①エネルギー：5.5%/11.2%</p> <p>②農業：0.7%/2.8%</p> <p>③LULUCF：1.0%/1.3%</p> <p>④産業物：1.0%/2.6%</p> <p>⑤IP：0.8%/0.9%</p> <p>↓</p> <p>・INDC Technical Reportにて目標達成のための45の緩和オプションとそれぞれの削減ポテンシャルを記載している（エネルギー（E1-17）、農業（A1-15）、森林（F1-9）、産業物（W1-4））。</p> <p>※本表には45の緩和オプションと削減ポテンシャルのうち、各発電セクターに該当するものを記載する。</p> <p>.....</p> <p>・（E17）太陽光発電にて2030年までに</p>	<p>【規制】</p> <p>・商工省エネルギー総局（GDE, MOIT）：法令、規制、国家戦略計画等の策定、実施、監視/電源開発計画や電力料金等の関連許可の策定</p> <p>・電力規制局（ERVA）：電力市場の開発、市場規制</p> <p>・エネルギー研究所（IE）：エネルギー政策・計画の策定、関連研究</p> <p>【発電】</p> <p>・国営電力公社（EVN）：垂直統合（発電電の買収）の国営電力会社</p> <p>【送電】</p> <p>・国営送電公社（EVN-NPTC）：系統接続される電力を独占的に調達</p> <p>【配電】</p> <p>・国営配電公社5社（北部、中部、南部、イ、ホーチミン）が、EVNの独立採算企業110kV以下の送配電設備を運営・管理。</p>	<p>・太陽光発電のFIT価格…2020年5月22日より設置場所ごとに①陸上は1キロワット時（kWh）当たり1,644ドン（7.09セント）、②洋上は1,783ドン（7.69セント）、③屋上は1,943ドン（8.38セント）</p> <p>・南部200kW未満の太陽光発電事業…2020年中に商業運転を開始する事業は、旧価格の2.086ドン（9.35セント）が20年間で運用される。2019年11月23日以降に承認を受けた場合や2021年以降に商業運転を開始する場合など、条件を満たさない太陽光発電事業については、入札制が適用される見込み（首相決定13号（13/2020/QD-TTg））。</p> <p>（以上、JETRO：2020年4月時点） （https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/04/73851908d63cd34f.html）</p>	<p>・再生可能エネルギー、クリーンエネルギー事業においては優遇税率10%が適用（適用期間15年間）。</p> <p>（2018年度版ベトナム投資ガイド：2018年5月） （https://assets.kpmg/content/dam/kpmg/jp/pdf/jp-vietnam-2018.pdf：43p）</p>

ベトナムNDC関連情報（一部）

支援情報の充実化

- ✓ 環境インフラの海外展開に有益な民間・自治体向け支援情報をさらに整備し、ウェブサイトにて公開
- ✓ 国内・海外における支援情報を充実化
 - 国内支援制度：掲載情報を9件から28件に拡充
 - 海外支援制度：掲載情報（詳細説明）を1件から10件に拡充

国内支援制度（詳細情報）の新規追加（例）

- 質の高いエネルギーインフラの海外展開に向けた事業実施可能性調査事業（経済産業省）
- 下水道革新的技術実証事業（B-DASHプロジェクト）（国土交通省）
- エネルギー消費の効率化等に資する我が国技術の国際実証事業（NEDO）
- 脱炭素技術海外展開イニシアティブ（日本NGO連携無償資金協力）（外務省）
- ポストコロナ成長ファシリティ・脱炭素推進ウィンドウ（JBIC）

海外支援制度（詳細情報）の新規追加（例）

- JCM日本基金（JFJCM）（ADB）
- アジアインフラパートナーシップ信託基金（ADB）
- ソブリンローン（ADB）
- ノンソブリンローン（ADB）
- Asia Climate Partners LP（ADB）
- 無償資金等（地球環境ファシリティ（GEF））
- 無償資金、有償資金（緑の気候基金（GCF））
- IFC信託基金（世界銀行）
- 都市間パートナーシッププログラム（世界銀行）

ウェブサイトの全面改修（令和3年度中に公開予定）

【一般向けサイト】（日本語、英語）

- ✓ デザイン全面変更
 - より魅力的で、視覚的な利便性を追求したデザインへの変更

【会員向けサイト】（日本語）

- ✓ デザイン全面変更
- ✓ 「会員個別ページ」の新設
 - 会員が自身で自企業・団体情報を更新できる個別ページ
 - 会員が持つ技術の対外的PRがよりタイムリーに可能に

【会員個別ページの機能（予定）】

- ✓ 企業／団体概要情報の掲載
- ✓ 企業／団体ロゴマークの掲載
- ✓ 企業／団体ウェブサイト情報の掲載
- ✓ 環境技術情報の掲載
- ✓ 製品カタログの掲載
- ✓ 企業／団体紹介動画の掲載
- ✓ 企業／団体への問い合わせフォーム
- ✓ 会員間での問い合わせフォーム（機能）

1. メールマガジンによる情報支援

- ✓ 海外展開に有益な情報を充実化、タイムリーに配信し案件形成促進
 - 特に国内外の海外展開支援制度の公募情報や、海外の中央政府・地方自治体、在外公館等からのニーズ情報をより充実化させて配信
- ✓ 配信した情報は会員向けサイトにも掲載・情報提供

2. 会員限定セミナーの開催

- ✓ 会員限定にオンライン無料セミナー開催を予定（6回以上開催）
- ✓ 会員の経験（これから海外展開を始めようとする初級者から、既に多数の経験を持つ上級者まで）に合わせた内容のセミナーも計画中

【今年度のセミナー内容（案）】

- 環境インフラ海外展開優良事例の紹介
- タスクフォースの成果共有
- ジャパン・ウィーク特集（ベトナム及びフィリピンを予定）
- 国際競争入札

※その他、会員からのニーズに応じて企画

環境技術リストの更新、海外への発信を強化

- 会員からの技術情報の募集、リストの更新を継続
- 今年度さらに利便性を高め、海外へ情報発信をさらに強化

温暖化対策		ごみリサイクル	水・土壌	大気	その他
<small>※1 本リストは、研究開発法人国立環境研究所のウェブサイト「環境展望台」の環境技術解説の分類および解説をもとに、環境インフラ海外展開プラットフォーム事務局が編集、加工しています。 ※2 プロジェクト例は、JCM：JCM設備補助事業、JFJCM等の採択案件、イノベ・コインベ：途上国向け低炭素技術イノベーション創出事業及びコ・イノベーションによる途上国向け低炭素技術創出・普及事業の採択案件にリンクしています。</small>					
分類	技術名	概要	登録技術	プロジェクト例 ※2	
				JCM	イノベ・コインベ
	風力発電	風力発電とは、風のエネルギーを利用する発電のことをいいます。技術の進歩と共に低コスト化が進んで、世界で急速な拡大を続けています。環境も発電できるといった利点がある一方、風況によって発電量が変動する等の課題も多く、風況予測・発電制御・大型化・海上を含む様々な場所への設置工法等、広範な技術開発が進められています。	洋上風況観測システム（日本気象協会）	ミンダナオ島33MW風力発電	
	バイオマス発電	バイオマス発電とは、木材や植物残さ等のバイオマス（再生可能な生物資源）を原料とする発電のことをいいます。	本質および量産型洋上バイオマス発電（田澤グリーンパル）	ミンダナオ島2.5MWモみ殻発電	エーセマデイ地域モみ殻発電
				製糖工場15MWバイオマス発電	スマトラ島12MWバイオ



- ✓ 技術リストを定期更新
- ✓ ソート機能追加
- ✓ 他の国内技術リストと統合／リンク
- ✓ 関連する環境省報告書・ワークショップ資料等の掲載

海外向け環境技術展示会における情報発信支援

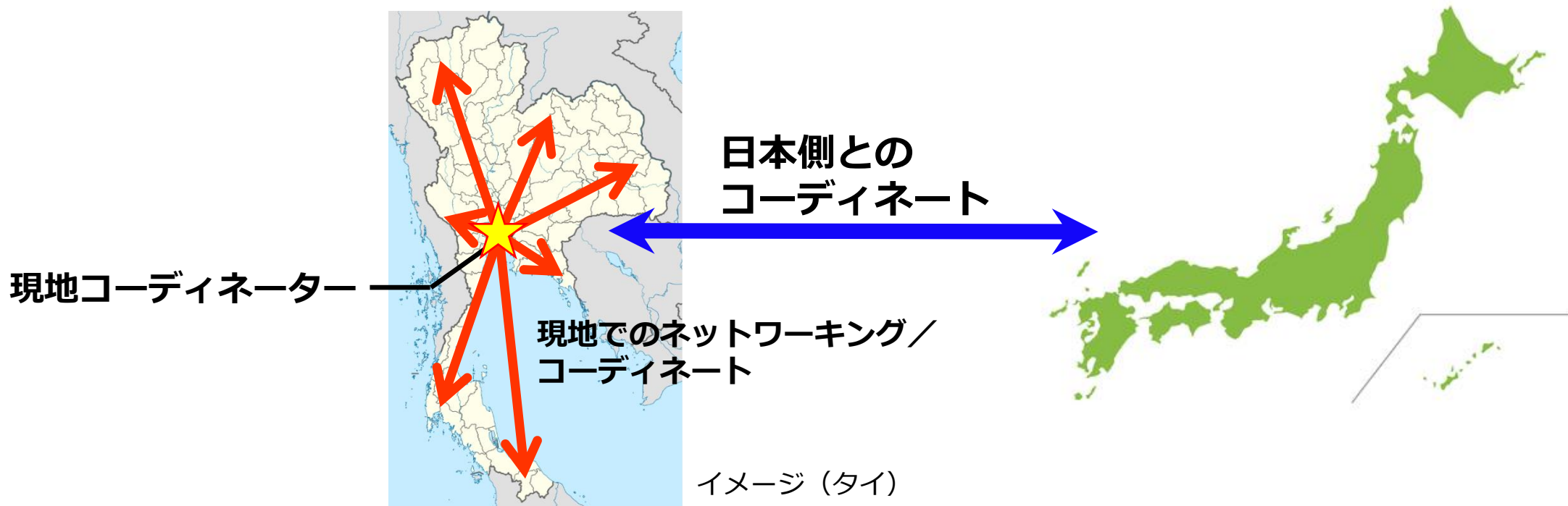
- ✓ 国内外の環境技術展示会（オフライン／オンライン）での情報発信の促進
- 1. JPRSIが出展し、取組を紹介すると共に、会員の持つ環境技術や海外展開事例を情報発信
- 2. 会員の環境技術展示会への出展を、JPRSIが支援

（例）タイにおける企業出展



現地コーディネーターの選定

- ✓ 現地コーディネーターによる正確な現地情報の迅速な収集、マッチング相手への情報提供やソリューションの提案を促進
- ✓ 現地のコンサルや専門家、当地の環境関連省庁等との現地ネットワークを構築
- ✓ タイ、ベトナム、インドネシア、ミャンマー、インドへの配置を想定

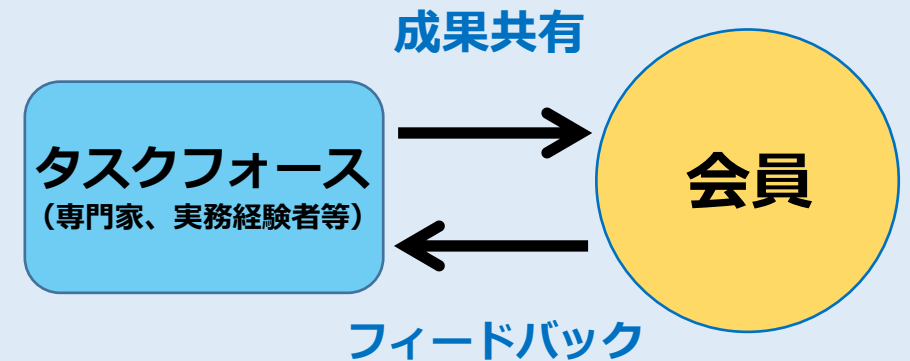


タスクフォースの設置

- ✓ 現地の環境ニーズに対し、我が国の環境技術による具体的なソリューションを提案し具体的な案件形成へと結びつけていくための課題対応や効果的手法検討
- ✓ タスクフォースの成果はセミナーやウェブサイト等で会員向けに共有

<今年度設置の3つのタスクフォース>

1. 都市・工業団地・街区レベルの開発
2. 我が国企業が有する環境インフラに関する強みの見える化
 - 廃棄物発電（Waste to Energy）
3. 我が国企業の国際入札への対応力強化



ジャパン・ウィークの開催

- ✓ 対象国における環境技術・インフラの普及を目的に、会員向けに対象国の関係者を集め、対象国における環境ニーズに特化したセッションを予定
- ✓ 企業出展／ビジネスマッチングも同時開催
- ✓ 今年度の対象国は、**ベトナム、フィリピン**を予定（オンライン）

1. 都市間連携セッション

対象国の中央政府、地方自治体に対し、我が国の都市レベルでの脱炭素化・低炭素化、温室効果ガスの排出量の削減、自治体における環境行政の実施、ノウハウ等の事例を紹介

2. 日本企業の環境インフラ海外展開促進セッション

対象国の自治体及び民間企業に対し、我が国企業の環境インフラ技術及びノウハウの展開を促進するため、技術の紹介やディスカッション等を実施

3. 企業出展／ビジネスマッチ

対象国と日本側との間の官民連携を促進するため、我が国の事業者と参加者が個別に商談を行えるビジネスマッチングを実施



相談窓口の設置

- ✓ ウェブサイトに相談窓口を設置し、海外での案件形成に関する相談を受付

【相談例】

- 海外のニーズ・状況について知りたい
 - 自社の技術について、どんなビジネスプランがあるかアドバイスがほしい
 - 国際入札の進め方について知りたい
 - どんな補助金・資金スキームがあるのか知りたい
- ✓ 相談の多い内容に関しては、会員向け勉強会等により会員に対して情報共有
 - GCF事業勉強会
 - 国際競争入札勉強会

